

家庭ごみマイナス100gの取組状況について

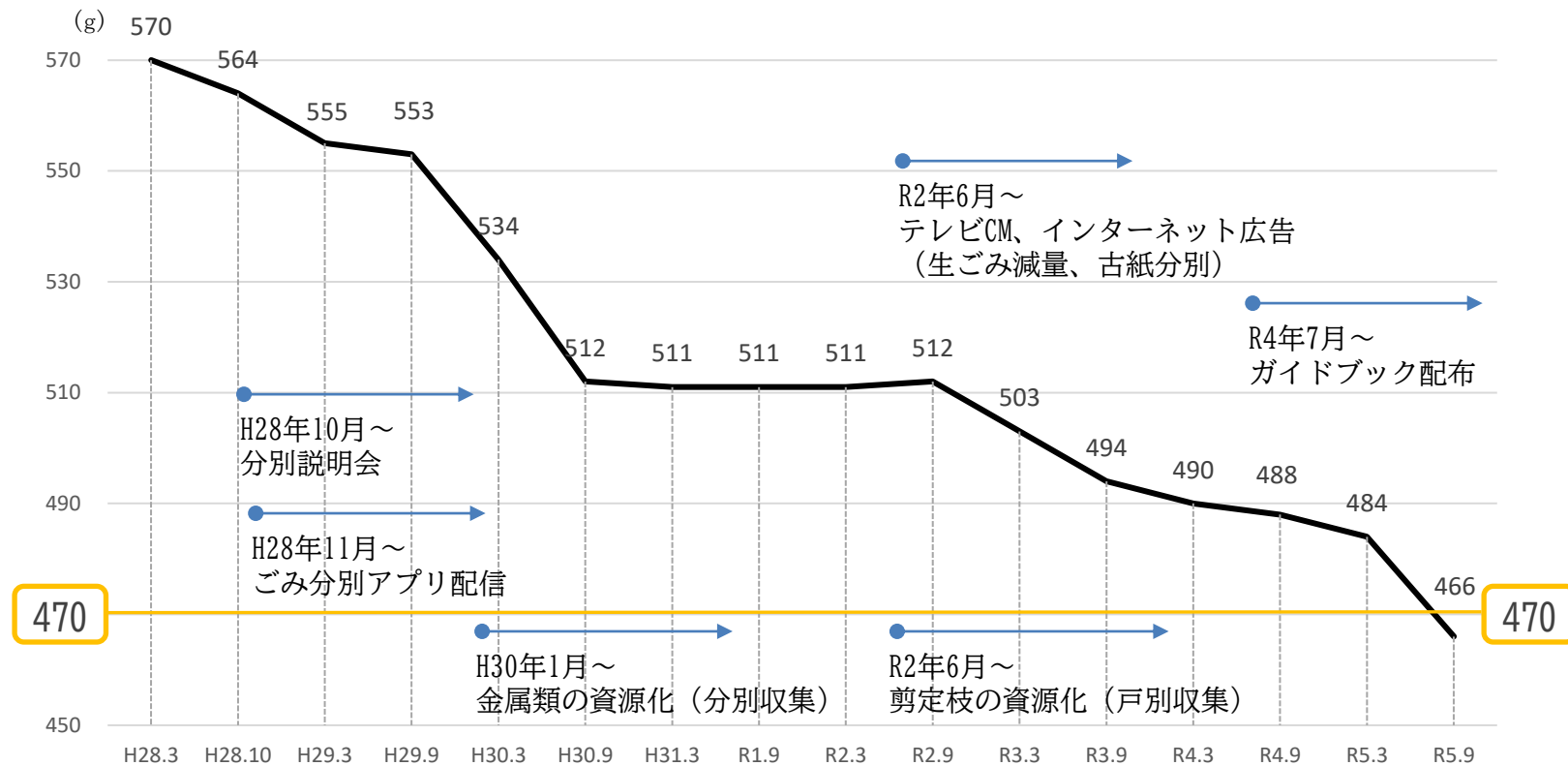
1 家庭ごみマイナス100gの目標達成と今後の取組について

令和7年3月を目標期限としている家庭ごみマイナス100gの取組について、5年9月時点で市民1人1日あたりの家庭ごみ量が466gとなり、目標値470gを達成し、10月以降も目標達成の状況を継続している。

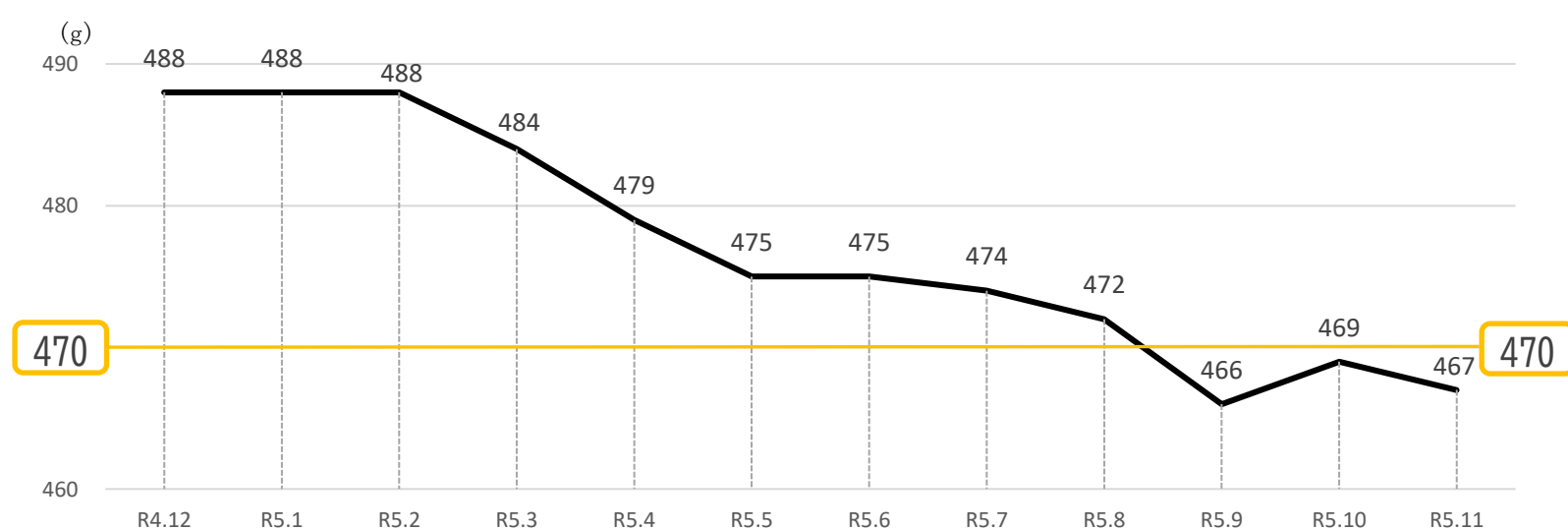
今後の家庭ごみの減量化・資源化には、有料化の手法を用いることなく、引き続き取り組んでいくこととする。

2 家庭ごみ量（市民1人1日あたり）の推移

(1) 基準値（H28.3）～目標達成（R5.9）



(2) 直近1年間（R4.12～R5.11）



3 これまでの経緯

- H27.10 家庭ごみの有料化について諮問（市⇒清掃事業審議会）
- H28.5 家庭ごみの有料化について答申（清掃事業審議会⇒市）

【答申内容】

- まずは、有料化以外の施策をこれまで以上に積極的に講じ、減量化・資源化を進める
- 減量化・資源化の推進が見られない場合は、有料化の手法も用いてその推進を図るべき

- H28.8 家庭ごみ減量の目標値470g設定
- H30.11 家庭ごみマイナス100gの目標期限設定（期限：R3.3）
- R2.8 家庭ごみマイナス100gの目標期限延長（期限：R5.3）
- R4.10 家庭ごみマイナス100gの目標期限延長（期限：R7.3）

4 減量達成の要因

- ごみの減量化・資源化の意識啓発（生ごみの水切りや分別の徹底など）
- 金属類・剪定枝の資源化
- 新型コロナウイルスの感染症法上の取扱変更に伴う生活様式の変化

5 家庭ごみ量（市民1人1日あたり）の他都市との比較

(1) 目標設定時（H28.8）

鹿児島市	570g	（H27年度実績）
中核市≪47市≫平均	512g	（H26年度実績） ※本市は下位（多い方から8番目）
有料化中核市≪13市≫平均	466g	（H26年度実績）

(2) 令和3年度末（R4.3）

鹿児島市	490g	（R3年度実績）
中核市≪62市≫平均	492g	（R3年度実績） ※本市は中位（少ない方から31番目）
有料化中核市≪19市≫平均	470g	（R3年度実績）